

中小企業景気動向調査結果

(2022年1月～3月期実績と2022年4～6月期の見通し)

調査日 2022年2月中旬

調査方法 金庫職員による面接聴き取り調査

調査対象 金庫取引先306社(製造業 75社、卸売業 31社、小売業 46社
サービス業 58社、建設業 62社、不動産業 34社)

有効回答率 90.5%

分析方法 (D.I.):diffusion index 「良い」とみる割合から「悪い」とみる割合を引いたもの。

「良い」(上昇) および「やや良い」(やや上昇) の割合 - 「悪い」(低下) および「やや悪い」(やや低下) の割合。

概況

1. 景況 ～業況は4四半期ぶりに悪化～

今期(2022年1月～3月期)の総合業況判断D.I.は▲44.0。足元では2月20日にて新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」が解除され、飲食業や観光業を中心にリバウンドによる業況の回復がみられるが、前回調査(2021年10～12月期)の▲21.4から▲44.0と22.6ポイントの大幅な悪化となった。これは2021年3月調査(▲46.4)以来の厳しい水準で、調査対象6業種全てで悪化した。

業種別にみると製造業で37.7ポイント悪化の▲50.0、建設業で32.2ポイント悪化の▲21.8、不動産業で25.9ポイント悪化の▲14.8と大幅な悪化が見られたほか、小売業、サービス業、卸売業においても7.6～17.1ポイントの悪化が見られ、景況感は厳しいものとなった。

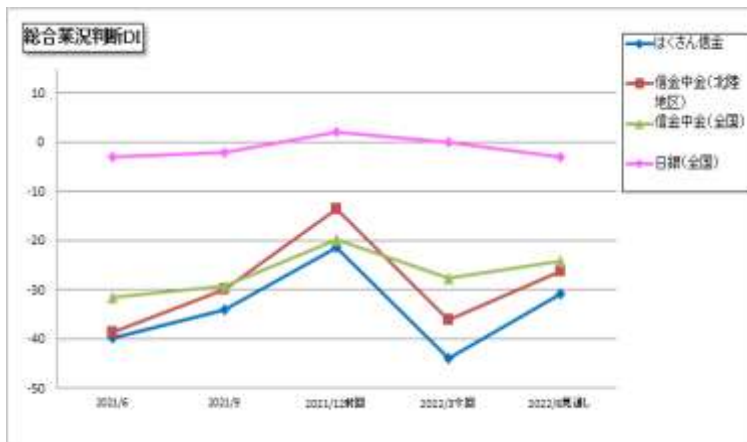
業況面では売上額D.I.が前期比24.4ポイント悪化の▲37.6、収益D.I.についても前期比26.6ポイント悪化の▲39.5となっている。

反面、雇用面では企業の業績悪化を受け、人手不足判断D.I.は6.7ポイント改善の▲16.8となった。

2. 3か月後の見通し～業況は引き続き厳しい見通し～

来期(2022年4～6月期)の見通しは、新型コロナウイルス感染者数減少による景気回復期待感から、業況判断D.I.は、▲30.8の13.2ポイント改善が見込まれている。

しかし、今回調査後に発生した、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー価格や原材料価格の高騰、米国の金利引上げに伴う円安など、事業者の更なる経営環境の悪化により、同D.I.の低下が予想される。



【総合 主要DI】

	2021年 6月	9月	前回 2021年 12月	今回 2022年 3月	次回見通し 2022年 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲39.8	▲34.1	▲21.4	▲44.0	▲30.8	↘
売上額	▲22.1	▲23.5	▲13.2	▲37.6	▲13.6	↘
収益	▲34.3	▲26.1	▲12.9	▲39.5	▲14.0	↘
販売価格	▲6.6	▲4.1	14.3	6.0	10.4	↘
仕入価格	32.8	37.3	47.1	56.1	51.6	↗
在庫	1.3	1.9	▲10.5	▲4.9	▲6.7	↗
資金繰り	▲16.3	▲21.0	▲11.4	▲17.9	▲20.8	↘
人手	▲7.5	▲15.8	▲23.5	▲16.8	▲19.6	↗

※全国・北陸のデータは、信金中央金庫の「全国中小企業景気動向調査」を参照しています。

【業種別業況天気図】

業種別業況天気図	2021年6月	2021年9月	前回 2021年12月	今回 2022年3月	次回見通し 2022年6月
総合	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	☁	☁	☁	☁	☁
卸売業	☁	☁	☁	☁	☁
小売業	☁	☁	☁	☁	☁
サービス業	☁	☁	☁	☁	☁
建設業	☁	☁	☁	☁	☁
不動産業	☁	☁	☁	☁	☁

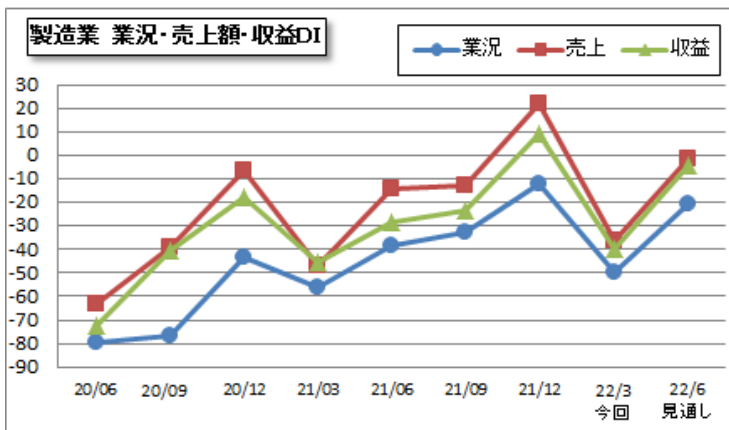


業種別の特徴(業況DI)

製造業

今回調査業況DIは、「▲ 50.0」

～ 前回調査比 37.7ポイントの悪化 ～



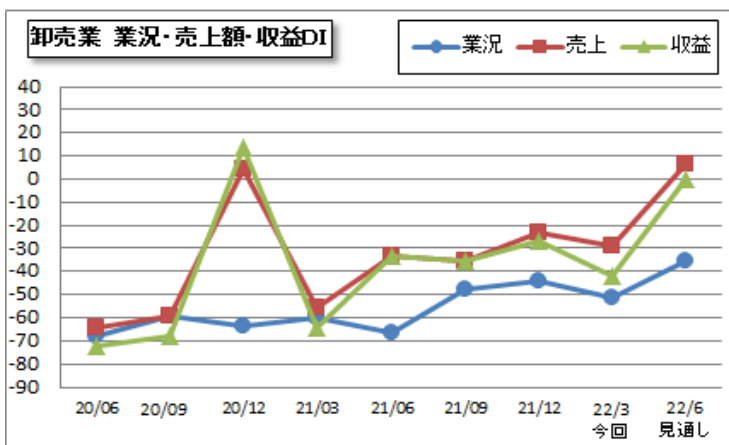
【製造業 主要DI】

	2021年 6月	9月	前回 12月	今回 2022年 3月	次回見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲ 38.6	▲ 32.8	▲ 12.3	▲ 50.0	▲ 20.8	↘
売上額	▲ 14.1	▲ 13.2	21.9	▲ 36.5	▲ 1.4	↘
収益	▲ 28.2	▲ 23.5	9.2	▲ 39.7	▲ 4.1	↘
販売価格	▲ 10.1	▲ 7.6	9.2	6.8	20.5	↘
原材料価格	44.9	50.8	58.5	58.3	54.2	↘
原材料在庫	4.4	7.7	1.5	▲ 7.0	▲ 9.9	↘
資金繰り	▲ 5.6	▲ 17.6	▲ 16.9	▲ 23.3	▲ 27.4	↘
人手	0.0	▲ 19.1	▲ 21.9	▲ 13.5	▲ 20.3	↗

卸売業

今回調査業況DIは、「▲ 51.6」

～ 前回調査比 7.6ポイントの悪化 ～



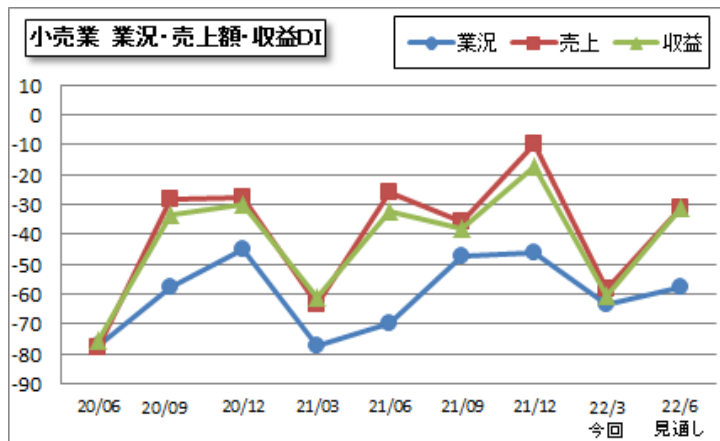
【卸売業 主要DI】

	2021年 6月	9月	前回 12月	今回 2022年 3月	次回見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲ 66.7	▲ 48.1	▲ 44.0	▲ 51.6	▲ 35.5	↘
売上額	▲ 33.3	▲ 35.7	▲ 23.1	▲ 29.0	6.7	↘
収益	▲ 33.3	▲ 35.7	▲ 26.9	▲ 41.9	0.0	↘
販売価格	7.4	▲ 3.6	23.1	25.8	30.0	↗
仕入価格	18.5	21.4	53.8	71.0	76.7	↗
在庫	18.5	17.9	23.1	12.9	16.7	↘
資金繰り	▲ 14.8	▲ 10.7	▲ 23.1	▲ 12.9	▲ 30.0	↗
人手	▲ 15.4	▲ 7.4	▲ 15.4	▲ 23.3	▲ 16.1	↘

小売業

今回調査業況DIは、「▲ 63.4」

～ 前回調査比 17.1ポイントの悪化 ～



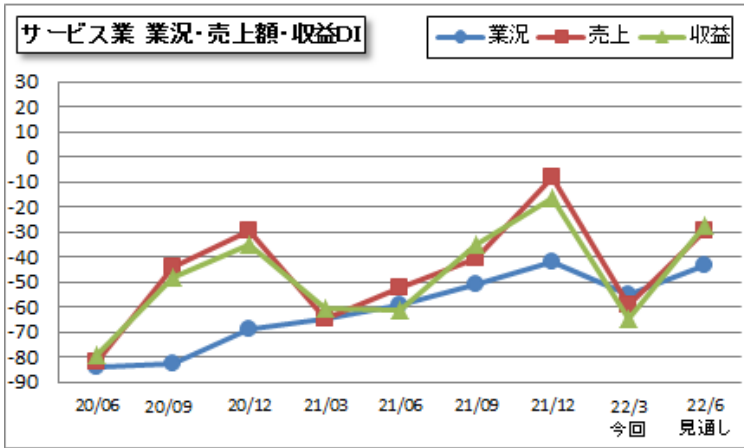
【小売業 主要DI】

	2021年 6月	9月	前回 12月	今回 2022年 3月	次回見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲ 69.6	▲ 47.6	▲ 46.3	▲ 63.4	▲ 57.5	↘
売上額	▲ 26.1	▲ 35.7	▲ 9.8	▲ 58.1	▲ 31.0	↘
収益	▲ 32.6	▲ 38.1	▲ 17.1	▲ 60.5	▲ 31.0	↘
販売価格	▲ 6.5	0.0	15.0	0.0	11.6	↘
仕入価格	19.6	33.3	39.0	48.8	44.2	↗
在庫	11.1	9.5	▲ 7.3	▲ 4.7	▲ 11.6	↗
資金繰り	▲ 32.6	▲ 38.1	▲ 24.4	▲ 34.9	▲ 27.9	↘
人手	2.3	▲ 7.5	0.0	▲ 2.3	▲ 11.6	↘

サービス業

今回調査業況DIは、「▲54.9」

～ 前回調査比 12.9ポイントの悪化 ～



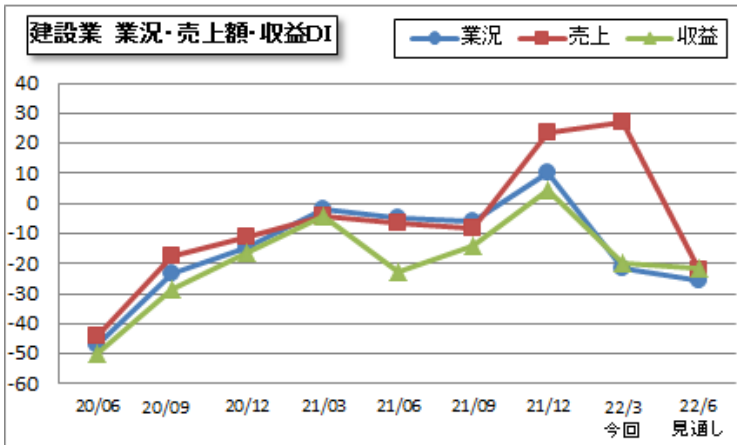
【サービス業 主要DI】

	2021年 6月	9月	前回 12月	今回 2022年 3月	次回見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲59.3	▲50.9	▲42.0	▲54.9	▲43.1	↘
売上額	▲51.9	▲40.4	▲8.0	▲58.8	▲29.4	↘
収益	▲61.1	▲35.1	▲16.0	▲64.7	▲27.5	↘
料金価格	1.9	▲3.5	10.0	5.9	5.9	↘
材料価格	27.8	33.3	58.0	49.0	45.1	↘
資金繰り	▲37.0	▲38.6	▲18.0	▲32.0	▲36.0	↘
人手	▲9.4	▲8.9	▲30.6	▲9.8	▲19.6	↗

建設業

今回調査業況DIは、「▲21.8」

～ 前回調査比 32.2ポイントの悪化 ～



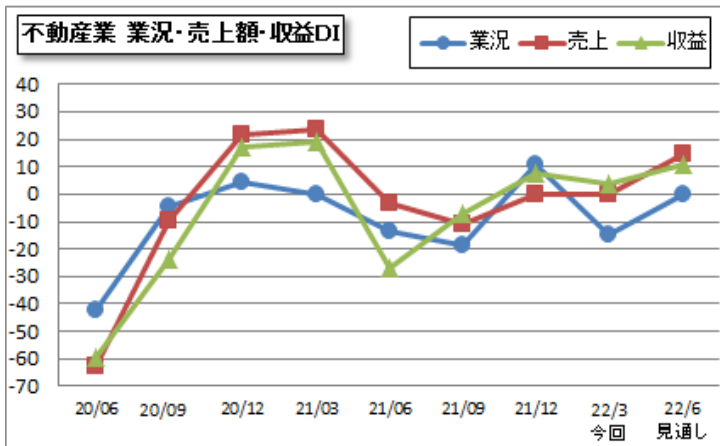
【建設業 主要DI】

	2021年 6月	9月	前回 12月	今回 2022年 3月	次回見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲4.9	▲6.0	10.4	▲21.8	▲25.5	↘
売上額	▲6.6	▲8.0	23.4	▲26.8	▲26.8	↘
収益	▲23.0	▲14.0	4.2	▲19.6	▲21.4	↘
請負価格	▲14.8	▲6.0	6.3	▲3.6	▲10.7	↘
材料価格	45.9	50.0	58.3	69.6	62.5	↗
在庫	▲1.7	0.0	▲5.6	▲5.6	▲1.9	→
資金繰り	▲6.6	▲4.0	4.2	0.0	1.8	↘
人手	▲22.0	▲30.6	▲37.5	▲37.5	▲28.6	→

不動産業

今回調査業況DIは、「▲14.8」

～ 前回調査比 25.9ポイントの悪化 ～



【不動産業 主要DI】

	2021年 6月	9月	前回 12月	今回 2022年 3月	次回見通し 6月	方向 (前回比)
業況判断	▲13.3	▲18.5	11.1	▲14.8	0.0	↘
売上額	▲3.3	▲11.1	0.0	0.0	14.8	→
収益	▲26.7	▲7.4	7.4	3.7	11.1	↘
販売価格	▲10.0	0.0	11.1	11.1	11.1	→
仕入価格	20.0	11.5	26.9	29.6	18.5	↗
在庫	▲30.0	▲38.5	▲38.5	▲18.5	▲25.9	↗
資金繰り	0.0	▲7.4	3.7	7.4	0.0	↗
人手	0.0	▲15.4	▲11.5	▲11.5	▲15.4	→